

小林市議会「みんなで語ろう会」地区別意見交換会【報告書】

開催地区	須木地区	担当班	議員名	担当
参加人数	13 名（男 12 名 女 1 名）		坂下 議員	司会進行
開催日	令和元年 7 月 23 日（火）		鎌田 議員	活動報告（総務文教）
開催時間	午後 7 時 30 分～9 時 00 分			（経済産業）
会場	須木ふるさとセンター			（市民厚生）
その他				（広報広聴）
		3 班	森田議員・貴嶋議員	記録・報告書作成

◎班代表者 鎌田 議員

意見交換会の内容		※□市民の意見 ■議員の意見
テーマ①	小・中学校の現状と課題について	
【意見交換の概要】		
◎開始に先立ち、区長から須木小・中学校校舎の現状を伝えるための資料・写真が渡された。須木地区に市議会議員がいなくなり、意見や要望が通らなくなるのではとの危機感から、議員に現状を理解して欲しいとの思いが伝わってきた。		
■須木地区の状況は理解している。校舎の現状についても調査し、議員間で討議する。		
□児童・生徒数の減少に歯止めがきかない。小・中一貫教育を実現し、校舎の建て替えができないか。また、地域コミュニティの拠点としての活用など、複合した利活用による学校のあり方も検討してほしい。		
□小・中一貫には賛否あり、PTAだけでは決断できない。地域との協議が必要。また廃校になった校舎の利活用についても考えていく必要がある。		
■小・中一貫教育については、保護者、地域住民、行政での合意形成が必要。また、校舎の建て替えについては、財源の問題もあり、市の公共施設の長寿命化計画の中で検討される。廃校活用については、今までも一般質問等で提案している。旧内山小学校の体育館は耐震化されていないので使用できない。廃校活用、そして学校の複合した利活用も含めて議員間で討議していく。		
□通学路の危険箇所について、新町にある空き家は古く、危険な状態にある。早い時期に点検して対処してほしい。		
■危険箇所については6月に学校から要請し、8月に関係者で点検するようになっている。安全第一なので早急に担当課に伝える。		

テーマ②	地域の課題について
【意見交換の概要】 □須木は人口が減少し、少子高齢化が急激に進んでいる。若い人たちの流出を止められない状況にある。観光客もあまり増えていない。須木の活性化計画を立てるよう行政に働きかけてほしい。 ■現在、小野湖を中心とした観光振興に力を入れている。観光客誘致など須木地域の活性化について、地域の皆さんの意見も聞きながら議員間でも討議していく。 □合併特例債で須木には何の恩恵もない。旧須木村(地域自治区時)の予算配分について、権限を調査してほしい。 ■合併特例債については、国からの制約があり理解していただきたい。予算配分については調査する。 □民生委員のなり手がいない。報酬等検討してほしい。 ■民生委員は国からの委嘱事業である。なり手不足はどこでも深刻な問題である。何らかの方策が必要。議会でも議論していく。 □奈佐木の公民館は避難所になっているが、裏に山があって危険箇所になっている。そこに消防団詰所もある。豪雨の際、危険ではないか。 ■避難所・消防団詰所については、議員間でも討議し、地域の意見を伝えていく。	

意見交換会の内容	※□市民の意見 ■議員の意見
<u>自由意見の交換</u> □廃プラスチックごみの分別方法が変わり、周知も遅く混乱した。また、ちょっと汚れたものが入っているとシールが貼られて回収されない。ふれあい収集についても広く利用できるよう条件を緩和してほしい。 ■急な変更で周知が遅れたことについて議論した経緯がある。ごみ収集について、今後問題が生じないよう議会でも議論していく。 □新軍谷トンネルの上の国有林は伐採され、崩れないか不安である。植林はどうなっているか。 ■2年前に伐採され、一部は植栽している。3年以内に実施するようになっているので注視していく。 □市道の草払いについては、市が業者やシルバー人材センターに委託して実施している。そのため区の予算がけずられた。区ですれば区の財源となる。これまでどおり区の予算として継続してほしい。 ■実情を把握し、要望を担当課に伝える。 <u>議会活動報告への意見</u>	

